

令和3年度 第4回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和3年7月30日（金） 18:00～19:00

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

【出席者】 11人（15人中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
委員	相原 雄太		委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	東 幸子		委員	今 光江		委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	○

※会長・副会長を除き、あいうえお順

企 画 経 済 部 ～中西次長・芳賀主査

厚 田 支 所 ～東支所長

地域おこし協力隊 ～飯塚隊員

事務局（地域振興課）～高田課長・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 1名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換（リラックスタイム）
 4. 協議事項
 - ①石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について（答申）
 - ②第8期の協議経過の振り返り ～ 第8期の総括並びに第9期への引継ぎに向けて ～
 5. 報告事項
 - ・市からの情報提供
 - ・その他
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、本日、東委員、角野委員、今委員、相原委員から欠席という連絡を受けているので報告する。
それでは、只今から第4回厚田区地域協議会を開催する。初めに築田会長から挨拶を申し上げる。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

皆さんこんばんは。今月の頭に前回の協議会をやった際に、東委員から天候が良くてイチゴは良好だというお話をいただいたが、こう1ヶ月も好天が続くとある意味災害だと思っている。昨日コロナが全国で1万人を超えたというニュースを見たが、若い人の感染が凄く増えているということで、大変なことになって来たと思う。本日は短時間で終了したいのでご協力よろしく願います。それでは早速始めたい。

3. 情報交換会 (リラックスタイム)

- ・農業の様子について～とうきび、かぼちゃ、ブロッコリー等、干ばつで特に畑作で影響が出始めている。水田の高温障害も心配。(八木沼委員)
- ・アクアレーン展覧会～毎回楽しみにしている。厚田神社を描いた絵が印象に残った。(鎌田委員)
～いつもと入選作の作風に違いが感じられた。布を使った絵が衝撃的だった。(小山委員)
～厚田賞のルーランは懐かしく思いながら見た。(大内委員)
- ・連休中の道の駅、朝市、海水浴場について～朝市は期待どおりの数は来ていなかったと思う。完売にならず閉店する店が多かった。人はいるが何故か活気がなく店の人もいつもと違う雰囲気とのことだった。(平賀委員)
～道の駅としては、この4連休で約18,000人の来場があったと聞いている。昨年と比較すると115%程の来場者。海水浴場は連日気温30度、水温25度と非常に高く、一番多い日で1,200人、車も300台以上が来たとのことだが、感染対策のため、駐車場が満車にならないようにコントロールしていると聞いている。(佐藤主査)
- ・厚田学園について～ズームで元日航キャビンアテンダントを講師に正しい挨拶・お辞儀の仕方など講義を受けた。厚田学園は挨拶日本一を目指しており、立ち止まって挨拶する生徒が増えるなど非常に効果があった。宿泊研修、修学旅行で子どもたちが研修先で厚田のPRをした。自分たちが作った厚田PRパンフと除菌ウェットティッシュを配った。今後子どもたちが企画した「あつたび」という観光バスツアーで、実際にバスに添乗しながら厚田をPRする観光イベントを実施したい。地域協議会や北石狩地域まちづくり協議会の協力もいただき実施したい。(丸山委員)

4. 協議事項

石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について (答申)

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

資料：石狩市過疎地域持続的発展市町村計画 (案)、※前回配付資料

厚田区・浜益区基礎データ資料 (今回追加)

まず、始めに厚田区では、目指す将来の姿を「近説遠来」と定め、これまで数々の地域課題を解決する取り組みが地域住民との協働の中での実践されている。

特に「交通の課題」「(空家の活用など、特に若い世帯をターゲットにした)移住定住の促進」「子育て環境の充実」などについては、地域性・ニーズを確認しながらその解決を図るための協議・検討が進められており、この計画は様々な財政措置も活用しながら地域と行政が一体となって取り組みを推進していく一端を担うものとなる。計画は今後5年分について記載しているが、厚田・浜益で事業を行うにあたり、有利な起債、いわゆる過疎債が充当できるよう、事業毎に細かく連ねるものではなく、大枠のメニューから、様々な事業が読み取れるよう記載されていることが大事な

点であることをまず理解頂きたい。

また、前月の地域協議会終了後から本日まで、委員の皆様から意見がなかったことをまずご報告する。

それでは、先日の協議会で出された意見について、次のとおり整理・判断した。始めに鎌田委員から意見として、歯科診療について記載すべきとのことであるが、現状では、3年程前に歯科医院が厚田区から撤退し、高齢者は中々歯科診療を受けることが出来なくて困っており、自治会でも過去に2度市に要望書を提出していることから、計画書にも歯科診療に係る部分を記載すべきでは、ということであった。本計画の中では、医療について記載されている部分で、地域医療の維持や医療体制の充実、医療機関への交通手段の確保などについて記載されているが、地域協議会としては、区民、自治会からの声として、安心して歯科診療を受けられるような機会の確保の必要性から、さらなる検討をいただきたいとの旨を、答申の中に意見として付記したいと考える。

次に丸山委員からの学校区域外からの通学については、計画書に記載の教育の振興や交通施設の整備、交通手段の確保の中で読み取ることができると判断し、答申に付記しないこととする。

次に築田会長から何点か出されている意見と質問については、まず厚田・浜益の基礎的数字を分けて記載してはという部分は、前回の会議で企画課から回答いただいたように、国から示されている様式ということで、まずは計画書では一体として記載しており、厚田・浜益どちらにも柔軟に、一体的に適用できる計画として、このような記載になっているということから付記しないこととする。ただ地域協議会の中で、毎年この過疎計画の進捗状況の確認や評価を行うとされていることから、企画課としても評価するにあたり、地域毎の数字は必要との認識であり、今後地域協議会で議論しやすいよう、それぞれの地域の数字を資料として用意することを確認している。本日追加資料としてお配りしたものが地区毎に分けた資料になるが、今後の評価する際には同様に分けた資料で示していただけるとのことである。

次にトドなどの海獣による水産業の被害対策の記載はあるが、厚田区でも問題となっているシカやアライグマ等の農業被害について記載がなく、その対応はどうかという部分であったが、前回の会議で企画課としても記載について担当部署と確認したいという回答であったので、地域協議会の意見として今回の答申に付記したいと考える。

次に教育振興や文化財保護、集落の整備に関する質問については、前回会議の中で回答があったとおり、計画書に記載されている内容から読み取れると判断・確認したので、答申に付記しないこととする。

その他、先日会長、副会長と協議した中で、地域づくりの中で重要な役割を担っている、地域おこし協力隊について記載がなかったため、地域づくりを実践している、地域おこし協力隊の支援について記載すべきと判断し、新たに答申に付記したいと考える。

以上、前回の意見や質問に対する回答として説明した。計画については妥当である旨を答申するが、地域として特に配慮いただきたい部分、説明と順が違うが、1. 地域おこし協力隊について、2. 農業被害について、3. 医療機会の確保の3点を答申の中に付記すべきと、先日、会長、副会長、事務局で詰めの協議を経て、その結果を只今委員の皆様へ説明させていただいた。全体で確認をいただきたい。私からは以上です。

【 築田会長 】

今事務局から説明あった。あくまで大枠で記載されているものだということ。厚田で行われる事業が過疎債に充当できるよう、幅広い表現で記載されているということである。

前回事前に資料をお配りし、見ていただいた中で、この記載内容から読み取れないんじゃないか、もう少し具体的に記載した方が良いのではないかと、という実際の地域の声を、鎌田委員から歯科診療について、丸山委員から学校の通学について、具体的には学校区域外通学についてだと思うが、その他私の方から厚田・浜益それぞれの数字に関する事、教育、文化振興に関する事、鳥獣被害に関する事、などを意見・質問として出させていただいた。前回の会議以降は、事務局に個々の委員から意見はないことを確認し、先日、私と副会長、事務局で答申案をまとめ、それを今ご説明させていただいた。

地域協議会として、正式に市に対して答申するため、皆様のご意見をいただきたい。他に何か気になること、意見があれば今お伺いしたい。

【 鎌田委員 】

歯科医院についても付記していただけるということでありがたく思う。実際に計画書に記載されるかどうか別として、検討のテーブルに載せていただけることを感謝する。

【 築田委員 】

他に意見はないか。

～特に意見無し

意見が無いようなので、地域協議会としては、計画は妥当であるが、先に説明したとおり地域の特性を考慮し、先の3点について意見を付記させていただき回答する。答申書については会長、副会長、事務局で文言を整理し提出させていただくことでよろしいか。

～全会一致で了承

第8期の協議経過の振り返り～第8期の総括並びに第9期への引継ぎに向けて～について

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

資料：第8期の厚田区地域協議会の開催状況

令和元年10月にスタートした第8期の地域協議会も残り2ヶ月となる。

当初、委員同士の情報共有を図る場として、月1回を目途に開催したいとの考えであったが、新型コロナウイルス感染症の防止対策として急遽中止、開催を見合わせた時期があり、予定より若干予定より少なくなり、今期はこの後何事もなければ、後2回、8月と9月1回ずつ、計17回の協議会になる。

いずれにしても、今期の任期は9月末まで。任期最後となる9月の協議会では第8期の総括と第9期への引継ぎ事項として提案することになる。今回その前段として、これまでの協議経過を振り返り、委員の皆さんから意見を頂戴したい。

第8期の1回目は令和元年10月の第7回地域協議会から始まり、以降、本日も含めて15回の協議会を開催している。今期は、地域協力隊の新規採用に向けての協議や、厚田区地域交通サービス検討委員会の設置に関する事、厚田区集落支援員制度の導入に向けた検討委員会の設置について協議してきた。

第7期からの引継ぎ事項であった地域おこし協力隊の隊員4名の確保については、当初は4名体制を維持したものの、令和2年度末に卒業1名のほかに2名が最大3年の任期を待たずに退任することになり、一時的に1名、現在は2名となった。今後について、検討委員会の方針に委ねることとした。

また、厚田区地域交通サービス検討委員会及び厚田区集落支援員制度検討委員会が立ち上がり、それぞれでの検討委員会で協議を重ねている状況。協議会の中で随時報告を受けており、特に集落支援員制度の導入については、令和3年3月24日令和2年度第8回の協議会で検討委員会から導入すべきとの提案を受け、令和4年4月の導入可という承認を協議会として行った。現在検討委員会では新年度からの採用に向けてその役割などの詳細を詰めているところ。

今期は、コロナ禍という予想しなかった状況により、地域イベントのほとんどが自粛されるなど、区内の動きもいろいろと制限されてきた中で、協議会としても地域を活性化させるためのアイデアを議論することが出来なかった。事務局としては、これまで協議会委員として関わってきた皆様からの感想や今後に対する意見を頂戴して、今後の協議会で総括と引継ぎ事項の案としてお見せしたいと思う。

ただ、いきなり意見といっても難しいことと思う。第7期の総括と引継ぎ事項を改めて見直してもらい必要もあるし、委員皆さんから忌憚のない意見も頂戴したいので、後日書類を送らせていただき、意見や感想、協議会委員として考えていること等あれば何でもよいので、記載していただき、8月中旬頃までに返送していただくように考えているので、よろしく願います。

【(厚)地域振興課 高田課長】

補足させていただく。急に振り返りといっても中々大変だと思う。あと2回しかない今期の協議会で、8月に8期の振り返りと9期への引継ぎという部分を協議したい。そのためのたたき台として皆さんの意見が欲しい。頂戴した意見をまとめたものを地域協議会の中でお見せして、それを基に議論したいと考えているので、よろしく願います。

【築田会長】

今説明あったとおり、事務局から皆さんに書類が届くので、お盆明け頃までに意見を書いて返送していただくという事で、よろしいか。

～全会了解

市からの情報提供

- ・2021年度 就労型課題解決インターンプログラムの実施について

資料：2021年度 就労型課題解決インターンプログラムの実施について

【(厚)地域振興課 寺尾主査】

2021年度 就労型課題解決インターンプログラムの実施について説明する。本庁商工労働観光課の主催事業になる。概要としては8月の1ヵ月間、7人の大学生が厚田・浜益に滞在し就労する中で商業者であったり、地域の課題を見つけて若者の視点や発想を活かしたアクションプログラムを作成し地域に提案するというもので、これをきっかけに商業者や地域が課題解決に向けて取り組んでいく機運を醸成するもの。厚田区では道の駅、キャンプ場、海水浴場で就労、宿泊は八幡二となっている。期間は8月3日に就労開始、8月31日が終了式となっている。8月30日にはアクションプログラムの提案を受けることとなっており、会場は厚田学園。担当から報告会にはぜひ地域協議会の皆さんにも参加いただきたいという依頼があった。次回の協議会で詳しく説明するが、参加について予定していただきたい。

【森田委員】

大学の方々は厚田をどのように選んだのか、その仕組みに興味があるので、分かれば教えていただきたい。

【(厚)地域振興課 寺尾主査】

正確かどうかはわからないが、全国各地にこのようなインターンプログラムを募集している大学があり、そこに照会し、大学が生徒に声掛けし参加者を募るという流れ。この制度で過去に石狩市のインターンシップに参加した飯塚隊員が詳しいと思うので、飯塚隊員からも答えさせていただく。

【(厚)地域おこし協力隊 飯塚隊員】

自分は実際にこの制度で石狩市にインターンに来た。自分は立教大学の観光学部で地域の学びを続けていたが実際に地域に行って学びたい生徒のために、単位をとれるインターンというのがあり、それを選択して受かった人だけが参加できる。全ての大学が同じかはわからないが、参加した際、他の大学生も地域関係の学びを続けていた人が多かったのも、多分、北海道で、厚田で、海側で学んでみたい、という希望がある生徒が応募しているのではないかと思う。

【鎌田委員】

参加者は統一したユニフォームを着たりしていないのか。地域の人がインターンの学生だとわかって声をかけられるような環境になればいいが。

【（厚）地域振興課 寺尾主査】

確認はしていないが、今の意見を担当に伝えさせていただく。

【小山委員】

この事業に参加した学生には、就労した分の労賃は発生するのか、ボランティアなのか。

【（厚）地域おこし協力隊 飯塚隊員】

学びの一環として来ているので労賃は発生しないが、宿泊代と食事の一部は事業費で確保されている。労賃はないが、その分学びを得られるというもの。

【築田会長】

他に何かないか。なければ事務局から、その他として何かないか。

【（厚）地域振興課 高田課長】

石狩三大秋祭りについてお知らせする。昨年コロナ禍で中止となった三大祭だが、残念ながら今年も中止が決まった。ただ昨年、石狩、浜益では代替えイベントとして即売会を実施しており、今年は厚田でもやりたいということで、農家や漁師の参加意向も確認できた。9月23日みなくるを会場に実施する予定で、今後、実行委員会が立ち上がり開催に向けて準備していくことになるのでご承知おき願いたい。

6. その他

【（厚）地域振興課 高田課長】

次回の日程については、8月26日（木）18時00分から望来コミュニティセンターで提案させていただく。

7. 閉会

【築田会長】

本日はこれで終了する。委員の皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和3年8月26日（木）18時00分～ 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

令和3年8月26日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 築田敏彦